

久留米大学を受診した患者さんへ

「光干渉断層計による鼻側視神経部分低形成の網膜神経線維層厚の測定」

の研究に使用する診療情報について

この研究では、久留米大学病院眼科を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の診療情報を使用します。

- 1) 受診期間：平成 26 年 1 月から平成 28 年 12 月の間に受診
- 2) 受診科：眼科
- 3) 対象疾患名：鼻側視神経部分低形成
- 4) 使用する情報：診療記録・画像などの診療情報

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承いただけますよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：久留米大学医学部眼科学講座

研究代表者：講師 氏名 春田 雅俊

研究分担者：教授 氏名 山川 良治

研究分担者：助教 氏名 児玉 良太郎

- 2) 研究の意義と目的：

鼻側視神経部分低形成は比較的稀な先天異常で、視力は良好なものの、耳側に視野異常を示します。今回、鼻側視神経部分低形成の患者さんの網膜神経線維層厚を光干渉断層計にて評価することを研究目的としています。

- 3) 研究の方法：

当院にて鼻側視神経部分低形成と診断した患者さんの視力、屈折、眼圧、視野検査の結果、眼底写真、光干渉断層計の画像について診療録を調査します。

- 4) 研究期間：

平成 29 年 2 月倫理委員会承認後～平成 29 年 12 月 31 日

- 5) 上記の診療情報の使用を選定した理由：

鼻側視神経部分低形成は下垂体腫瘍と類似した視野障害をきたすことがあります。今回の調査で先天的な異常である鼻側視神経部分低形成と後天的な異常である下垂体腫瘍で、網膜神

経線維層厚のパターンに違いがあるかを明らかにするためです。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：

今回の研究で得られた情報は厳密に管理されます。また取得した情報を個人が特定される形で公表することはありません。

7) 研究成果の発表の方法：

本研究の研究成果は国内、国外の学会あるいは論文で発表する可能性があります。

8) 利益相反：

本研究は特定企業からの資金援助はありません。

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

代表者氏名 春田 雅俊 （久留米大学医学部眼科学講座、講師）

〒830-0011 福岡県久留米市旭町 67

TEL (0942)31-7574

FAX (0942)37-0324